九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[116]文學研究表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/2230548

出版情報：文學研究. 116, 2019-03-18. Faculty of Humanities, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

彙報

国語学・国文学研究室

講義題目

平成三十年度前期

文学部

国語学講義Ⅰ　日本語音韻史の研究――韻律論――　高山倫明
国語学演習Ⅰ　万葉集旋頭歌の研究――言語史資料としての万葉歌――（1）　高山倫明
国語学講義Ⅲ　方言からみる日本語文法　関西大学　日高水穂
国語学講義Ⅵ　現代日本語の文章・談話と文体　国立国語研究所　野田尚史
国文学講義Ⅰ　物語と和歌　辛島正雄
国文学演習Ⅰ　『栄花物語』注釈Ⅰ　辛島正雄
国文学講義Ⅲ　近世の芸能史概説　川平敏文
国文学演習Ⅲ　『伽婢子』訳注と自主研究Ⅰ　川平敏文
国文学演習Ⅴ　日本近代文学の小説　松本常彦

人文科学府

日本語史特論Ⅰ　日本語音韻史の諸問題――韻律論――　高山倫明
日本古代語史研究Ⅰ　古代語の研究（1）　高山倫明
博士演習　古代日本語・日本漢字音の諸問題　高山倫明
日本語学特論Ⅱ　現代日本語の文章・談話と文体　国立国語研究所　野田尚史
古代散文論特論Ⅰ　作り物語と和歌　辛島正雄
日本古代文学作品研究Ⅰ　『我身にたどる姫君』注釈Ⅰ　辛島正雄
博士演習　日本中古・中世文学研究の諸問題　辛島正雄
近世文芸史論特論Ⅰ　近世芸能史研究　川平敏文
日本近世文学作品研究Ⅰ　山岡元隣『宝蔵』訳注　川平敏文
博士演習　近世文学研究方法論　川平敏文
日本近代文学作品研究Ⅰ　日本近代文学作品研究　松本常彦
論文指導　各教員

平成三十年度後期

文学部

国語学講義Ⅱ　日本語音韻史の研究――史的連濁論――　高山倫明

国語学演習Ⅱ　万葉集旋頭歌の研究――言語史資料としての万葉歌――（2）　高山倫明
国語学講義Ⅳ　古代日本語文法研究　國學院大學　小田勝
国語学演習Ⅳ　中世語研究　青木博史
国語学（書道）Ⅰ　国語学（書道）Ⅰ　福岡教育大学　服部一啓
国文学講義Ⅱ　『無名草子』の物語論　辛島正雄
国文学演習Ⅱ　『栄花物語』注釈Ⅱ　辛島正雄
国文学講義Ⅳ　伝記研究入門　川平敏文
国文学演習Ⅳ　『伽婢子』訳注と自主研究Ⅱ　川平敏文
国文学講義Ⅵ　平安文学史研究　京都女子大学　坂本信道
国文学演習Ⅵ　日本近代文学の小説　松本常彦
国語学・国文学基礎演習　日本語学・日本文学研究入門　辛島正雄・高山倫明

人文科学府

日本語史特論Ⅱ　日本語音韻史の諸問題――史的連濁論――　高山倫明
日本古代語史研究Ⅱ　古代語の研究（2）　高山倫明
博士演習　古代日本語・日本漢字音の諸問題　高山倫明
古代散文論特論Ⅱ　『無名草子』に見る物語論　辛島正雄
日本古代文学作品研究Ⅱ　『我身にたどる姫君』注釈Ⅱ　辛島正雄
博士演習　日本中古・中世文学研究の諸問題　辛島正雄
近世文芸史論特論Ⅱ　伝記研究方法論　川平敏文
日本近世文学作品研究Ⅱ　都の錦『元禄太平記』訳注　川平敏文
博士演習　近世文学研究方法論　川平敏文
日本近代文学作品研究Ⅱ　日本近代文学作品研究　松本常彦
日本文学特論Ⅱ　平安文学史研究　京都女子大学　坂本信道
論文指導　各教員

学会・研究室行事

○平成三十年度　九州大学国語国文学会

（二〇一八年六月九日（土）於旧工学部本館三階・一〇番教室）
（研究発表）
「忠こそ」物語の構図――継子物語における父親像について――　九州大学大学院生　余鴻燕
瘤取爺の猿楽――艶笑譚として読む宇治拾遺物語第三話――　福岡大学（非）　大木桃子
佐世保市宇久町平方言の「形容詞連用形＋ニ」による副詞的用法　福井工業高等専門学校　門屋飛央
丁寧語の発達　九州大学　青木博史

伴信友『史籍年表』刊行前夜――近世後期工具書編纂の一齣――　鹿児島大学　亀井　森

芭蕉と邵康節――此一筋につながる――　佐賀大学（特）　井上敏幸

（特別企画）

さよなら箱崎キャンパス――歴代助手が語る研究室の思い出――

和歌山大学（名）　柏原　卓
九州大学　辛島正雄
筑紫女学園大学　松下博文
国文学研究資料館　入口敦志
九州大学　高山倫明

○平成三十年度　第六十八回　西日本国語国文学会

（二〇一八年九月一日（土）～二日（日）　於別府大学三二号館・四〇〇番教室）

（研究発表）

忠こそ物語の構想と中国文学――舜子譚とその周辺――　九州大学大学院生　余　鴻燕

桃源瑞仙の三体詩の抄物を追って――駒澤大学図書館『三体唐詩絶句抄』を中心に――　九州大学大学院生　古田龍啓

（関係者のみ）

研究室刊行物

○語文研究　第一二四号（二〇一七年一二月発行）

源氏物語竹河巻「手にかくる」の和歌の本文異同と解釈　工藤重矩

徳川吉宗の文教デザイン――『六諭衍義大意』研究ノート――　川平敏文

最末期〈膝栗毛もの〉合巻の一受容実態考――『弥次北八横濱九里毛』・『横濱栗毛／二編』の絵組と本文齟齬現象をめぐって――　康志賢

副詞「どうやら」の史的変遷　川瀬卓

○語文研究　第一二五号（二〇一八年六月発行）

坂口安吾「桜の森の満開の下」論――理性の限界に関する文脈――　河内重雄

振鷺亭の読本について――善悪観・因果応報観を中心に――　大牟田拓海

忍辱太子譚の享受と展開――『直談因縁集』巻四第十三話を中心に――　森　誠子

『日本書紀』倭迹迹日百襲姫の託宣における「憑」についての考察　藤崎祐二

○**文献探究　第五六号**（二〇一八年三月発行）
《口絵・解説》『朝鮮活字標本』（九州大学附属図書館　春日政治・和男文庫蔵）　　蛭　沼　芽　衣
九州大学蔵〔林屋正蔵咄本〕改め「忠臣蔵道化縁起」翻刻と解題（下）　　前　田　桂　子
西村遠里『居行子』――解題と翻刻――（二）　吉　田　　宰
『児戯笑談』解題と翻刻（二）　　脇　山　真　衣
九州大学附属図書館蔵「五轉受仮字大概」解題と翻刻　　蛭沼芽衣・門屋飛央・藤田優子・高須芳之介・大宅芙美

○**西日本国語国文学　第五号**（二〇一八年一〇月発行）
『今とりかへばや』女装の男君についての一考察――潜在する〈男性性〉と、その解放――　　田　島　智　弘
シンポジウム報告「学生をそだてる国語国文学の教育」はじめに　　二階堂　　整
「小さなことばたち」に目を向けられる学生をそだてるために　　松　尾　弘　徳

（関係者のみ）

中国文学研究室

講義題目

平成三十年度前期（春学期・夏学期）

基幹教育科目

文系ディシプリン科目（文学・言語学入門）　　静　永　教　授

文学部

講義　長恨歌・長恨歌伝講読　　静　永　教　授
講義　中国白話文学研究　　井　口　講　師
演習　唐詩残篇訳注　　静　永　教　授
演習　中国白話小説講読　　井　口　講　師
演習　中国語文法研究　（言語文化研究院）　　西　山　教　授
演習　古典文学作品研読　　林　教　師
演習　中国文学研究法　　林教師・井口講師・静永教授
中国語（中級）Ⅲ・中国語初歩Ⅰ（佐賀大学）　　中尾友香梨准教授
中国語会話Ⅰ・中国語作文Ⅰ　　林　教　師

人文科学府

＊印は他講座教員との共同オムニバス授業

現代文化論C　　井口講師・静永教授*
演習　文選の研究　　静　永　教　授
演習　明代文学研究法　　井　口　講　師
演習・博士演習　中国文学研究法　林教師・井口講師・静永教授
論文指導　中国語学中国文学の諸問題　　井　口　講　師

論文指導　中国語学中国文学の諸問題　静永教授
オープンキャンパス模擬講義　井口講師

平成三十年度後期（秋学期・冬学期）

文学部共通科目

＊印は他講座教員との共同オムニバス授業

人文学基礎Ⅱ　中国の伝統文学と大衆文学について　井口講師・静永教授*

文学部

講義　中国白話文学研究　井口講師
演習　唐詩残篇訳注　静永教授
演習　中国白話小説講読　井口講師
演習　古典文学作品研読　林教師
演習　中国文学研究法　林教師・井口講師・静永教授
中国語（中級）Ⅳ・中国語初歩Ⅱ（佐賀大学）中尾友香梨准教授
中国語会話Ⅱ・中国語作文Ⅱ　林教師
集中講義　中国演劇史の研究（京都府立大学）小松謙教授

人文科学府

演習　文選の研究　静永教授
演習　明代文学研究法　井口講師
演習・博士演習　中国文学研究法　林教師・井口講師・静永教授
論文指導　中国語学中国文学の諸問題　井口講師
論文指導　中国語学中国文学の諸問題　静永教授

学会・研究室行事等

○中国文藝座談会

第二九七回（二〇一八年一月二十七日）　於文学部四階会議室
司馬相如「大人賦」について　木村淳美
「目連変文」の文体研究　下川純奈
『水滸伝』の人物像研究　鶴田茜
白蛇伝物語の諸相　諏訪田実紀
程小青とコナン・ドイル――シャーロック・ホームズ翻訳研究　木佐木映見
日本内閣文庫所蔵の『極玄集』について　汪涵

第二九八回（二〇一八年三月三日）　於文学部四階会議室
武定侯郭勛と通俗白話歴史小説　井口千雪
黄庭堅と蘇軾「和陶詩」　原田愛
「長恨歌」と中唐の「尤物」論　竹村則行

第二九九回（二〇一八年四月二十八日）　於教育学部一階会議室
白居易の描いた悲劇の王妃たち　干佳林
日本白居易研究における「四傑」――平岡武夫・花房英樹・太田次男・岡村繁――　李宝霖
周作人の「草木虫魚」シリーズ（前篇）――鳥獣虫魚小品――　呉紅華
『西廂記』評点本について　黄冬柏

第三〇〇回（二〇一八年七月十四日）　於文学部四階会議室
『李嶠百詠』と初唐における詠物詩の変革　胡　凌　燕
荻生徂徠における王世貞の文学思想の受容　薛　欣　欣
『四庫全書総目』の殿本と浙本の比較――「史部」を中心として　楊　柳
死と向き合う陸機――「歎逝賦」と「挽歌詩」を中心として　王　昊　聰
三百回を通過した中国文藝座談会　竹　村　則　行

第三〇一回（二〇一八年十一月十七日）
於伊都イースト一号館六階中国文学研究室
馮夢龍の笑話集編纂について　山　口　綾　子
西晋における「雷電」と陸機　王　昊　聰
妻を暗示する唐詩について　静　永　健

○中国《文選》学研究会第十三届年会暨「百年選学：回顧与展望」国際学術研討会（二〇一八年八月四日～五日、於北京大学）
関於《幽通賦》曹大家注的学術性所在　栗　山　雅　央
読《文選集注》札記　静　永　健

○九州大学伊都キャンパス完成記念人文科学研究院国際シンポジウム「アジアにおける人の移動と人文学的変容」
セクションⅡ「移ろえど変わらぬ和漢古典の魅力（変又不変的和漢古典文学之魅力）」（国文研究室との共同開催）
（二〇一八年九月二十一日、於伊都ＣＰ・ゲストハウス）
基調講演：『聯珠詩格』と江戸漢詩の大衆化　（成蹊大学名誉教授・学士院会員）揖　斐　高
論建安文学批評的発生　（北京大学教授・中国文選学会会長）傅　剛
唐代「格」「律」「体」及相関詩学概念考釈　（北京大学教授・中国唐代学会理事）杜　暁　勤
日中で異なる「長恨歌」の本文　静　永　健
空海の漢詩文を通じて平安朝の「境界」を読み直す　（四川大学副教授）ウィリアム・マッダ
東アジア勧善書の移動と庶民教育　（東明大学校教授）成　海　俊
嵯峨本再考　（国文学研究資料館教授）入　口　敦　志
文求堂田中慶太郎父子的漢籍集蔵与鑑識　（北京大学教授・同文献学センター長）劉　玉　才
経書註釈と博物学の間：江戸時代における「詩経図」について　（東京大学教授）陳　捷
司会／川平敏文・静永健

○第七十回日本中国学会大会発表
（二〇一八年十月六日～七日、於東京大学駒場キャンパス）
武定侯郭勛と通俗歴史白話小説　（次世代シンポジウム「武人・武官と文学」）井　口　千　雪

漢魏六朝時代における騒体賦の変貌
——本文生成と文体選択の二重視座から——　林　暁光
李嶠「宝剣篇」創作考——昇仙太子の剣を手がかりとして——　種村由季子

研究室刊行物

○『**中国文学論集**』**第四十七号**（二〇一八年十二月二十五日発行）
三百回を通過した中国文藝座談会——五百回を目指して——　竹村則行
『李嶠百二十詠』における初唐詠物詩の変革　胡　凌燕
空海の漢詩文を通して平安朝の「境界」を読み直す
——『遍照発揮性霊集』巻一「野陸州に贈る歌」を中心に——　ウィリアム・マツダ
武定侯郭勛の人脈——その文学活動を支えたもの（前編）　井口千雪
周之標編著活動考　岩崎華奈子
荻生徂徠における王世貞文藝思想の受容　薛　欣欣
『四庫全書総目』の殿本と浙本の比較——「史部」を中心として　楊　柳

社会連携事業

中国外交部報道局メディア訪問団との懇談会
（二〇一八年四月二十五日、於箱崎・法学部二階会議室）
中文研究室教員及び学生一同

教員免許状（国語科）更新講習
（二〇一八年十月二十八日、於九大伊都キャンパス）
中学高校における漢文教材の再検討　静永　健

記念中日平和友好条約締結四十周年・記念中国改革開放四十周年座談会
（二〇一八年十月二十三日、於ニューオータニ博多）
初めての旅行で知った新しい中国　大園大輔・福田華矢

人事異動

鍾　東　三月三十一日、招聘外国人教師の任期を満了し、北京大学中文系に帰任。
林　暁光　四月一日、特定プロジェクト教員（外国人教師）として、浙江大学人文学院より着任。
甲斐　雄一　四月一日、明治大学文学部講師に着任。
栗山　雅央　四月一日、西南学院大学国際文化学部助教に着任。
長谷川真史　四月一日、東京学芸大学特任講師に着任。

英語学・英文学研究室

講義題目（平成三十年度前学期）

英語学

論文指導　論文指導　西岡教授
論文指導　論文指導　大橋教授
博士演習　生成文法研究　西岡教授
博士演習　認知言語学入門Ⅰ　大橋教授
英語学講義Ⅱ　英語学概論　西岡教授
英語学演習Ⅺ　英語統語論入門　西岡教授
英語学演習Ⅱ　English Phonetics and Phonetic Analysis　ルーナ准教授
英語学演習Ⅻ　English in Intercultural Communication　ルーナ准教授
英語学特論Ⅱ　ミニマリスト統語論　西岡教授
英語学研究Ⅱ　生成文法研究　西岡教授
英語学研究Ⅴ　認知言語学入門Ⅰ　大橋教授
英語学特殊研究Ⅰ　Cognitive Approaches to Grammar　ルーナ准教授
英会話Ⅰ（専攻生）　English Conversation Ⅰ　ルーナ准教授
英作文Ⅰ　English Composition 1　ルーナ准教授

イギリス文学

論文指導　論文指導　鵜飼教授
博士演習　Virginia Woolf, *To the Lighthouse* 研究　鵜飼教授
イギリス文学演習Ⅳ　Jane Austen 研究　鵜飼教授
イギリス文学演習Ⅴ　Charles Dickens 研究　鵜飼教授
イギリス文学特論Ⅰ　Jane Austen, *Sense and Sensibility* 論　鵜飼教授
イギリス文学研究Ⅲ　Virginia Woolf, *To the Lighthouse* 研究　鵜飼教授
イギリス文学講義Ⅴ　イギリス・ロマン派の詩を読む（東京大学総合文化研究科）　アルヴィなほ子教授
イギリス文学特論Ⅷ　イギリス・ロマン派の詩を読む（東京大学総合文化研究科）　アルヴィなほ子教授

アメリカ文学

論文指導　論文指導　高野准教授
博士演習　Don DeLillo の *Libra* を読む　高野准教授
アメリカ文学講義Ⅰ　ヘミングウェイの小説技巧（『日はまた昇る』）　高野准教授
アメリカ文学演習Ⅳ　Herman Melville の *Redburn* を読む　高野准教授
アメリカ文学演習Ⅷ　Melville's short fiction　クロンツ准教授
アメリカ文学演習Ⅹ　*The Crying of Lot 49*　クロンツ准教授
アメリカ文学研究Ⅰ　Don DeLillo の *Libra* を読む　高野准教授

アメリカ文学特論Ⅰ　Ernest Hemingway, *For Whom the Bell Tolls* の批評史　高野准教授

アメリカ文化研究Ⅰ　Melville's *Confidence Man*　クロンツ准教授

英会話Ⅰ（専攻生以外）　Conversation I　クロンツ准教授

英語Ⅴ　Rhetoric and Interpretation　クロンツ准教授

アメリカ文学講義Ⅵ　アメリカの音楽文化（慶應義塾大学法学部）　大和田俊之教授

アメリカ文学特論Ⅵ　アメリカの音楽文化（慶應義塾大学法学部）　大和田俊之教授

講義題目（平成三十年年度後学期）

英語学

論文指導　論文指導　西岡教授

論文指導　論文指導　大橋教授

博士演習　ミニマリスト統語分析研究Ⅱ　西岡教授

博士演習　認知言語学入門Ⅱ　大橋教授

英語学演習Ⅲ　談話概念と文法現象　西岡教授

英語学演習Ⅴ　Language and Society　ルーナ准教授

英語学演習Ⅵ　英語統語論入門Ⅱ　西岡教授

英語学特論Ⅲ　ミニマリスト統語分析Ⅱ　西岡教授

英語学研究Ⅲ　ミニマリスト統語分析研究Ⅱ　西岡教授

英語学研究Ⅵ　認知言語学入門Ⅱ　大橋教授

英語学特殊研究Ⅱ　Language and Culture　ルーナ准教授

英会話Ⅱ　English Conversation II　ルーナ准教授

英米研究　At home, at work, at play: the underside of American and British cultures　ルーナ准教授

英語Ⅵ　Written English Discourse Analysis　ルーナ准教授

イギリス文学

論文指導　論文指導　鵜飼教授

博士演習　Virginia Woolf, *The Waves* 研究　鵜飼教授

イギリス文学講義Ⅳ　Jane Austen 論　鵜飼教授

イギリス文学演習Ⅵ　Daniel Defoe 研究　鵜飼教授

イギリス文学特論Ⅱ　Walter Scott, *Waverley* 論　鵜飼教授

イギリス文学研究Ⅳ　Virginia Woolf, *The Waves* 研究　鵜飼教授

アメリカ文学

論文指導　論文指導　高野准教授

博士演習　批評理論入門　高野准教授

アメリカ文学演習Ⅰ　F. Scott Fitzgerald の *The Great Gatsby* を読む　高野准教授

アメリカ文学演Ⅻ　Edgar Allan Poe、恐怖とグロテスク　高野准教授

アメリカ文学演習Ⅴ　American Literature　クロンツ准教授

アメリカ文学研究Ⅱ　批評理論入門　高野准教授

アメリカ文学特論Ⅱ　Frank Norris の *McTeague* を読む　高野　准教授
アメリカ文化研究Ⅱ　*The New York Trilogy*　クロンツ准教授
英会話Ⅱ（専攻生以外）　Conversation II　クロンツ准教授
英作文Ⅱ　Composition　クロンツ准教授
英語Ⅵ　To be announced　クロンツ准教授

学会・研究室行事

日本英文学会九州支部第71回大会研究発表

（2018年10月　於　九州女子大学）

英語学

アフォーダンスによるフレーム規定――over の従事用法を中心に　石垣恵一
CP phase に関する研究――Phase Candidate 分析　阿部慎太郎
（非）等位構造における右方節点繰り上げと空所化　臼井悠香

イギリス文学

忍耐とバランスの主人公――*Persuasion* に見る、情念に向き合い続ける意志　福永綾

アメリカ文学

コミュニケーションに見る Oedipa のジェンダー観――*The Crying of Lot 49* のパラノイアとジェンダー　津曲香星
自己の内面への "a little private plot" への鍵――Henry James の *Roderick Hudson* に描かれる葛藤　川村真央
潔癖なロマンス――*The Sun Also Rises* に見る Hemingway の旧価値観　霜田桃子

英語学

ELSJ International Spring Forum 2018

（2018年5月　於　北海道大学）

The structure of free relatives and decomposition of *wh* operators　Norimasa Hayashi

日本言語学会第156回大会

（2018年6月　於　東京大学）

ラベルにおける Head の強弱の除去　林慎将

生物学・言語学研究交流会

（2018年8月　於　九州大学）

生物学と言語学の接点を求めて　吉村理一

日本認知言語学会第19回全国大会

（2018年9月　於　静岡大学）

フレーム意味論から見た over の従事用法　石垣恵一

日本言語学会第157回大会　（2018年11月　於　京都大学）

インターフェイスにおけるラベルの働きについて　林　愼　将

前置詞残留から見る削除現象の派生　臼井悠香

日本英語学会第36回大会（2018年11月　於　横浜国立大学）

制限関係節における再構築と主語の移動に関して――POP+とBEAの観点から――　林　愼　将

第38回福岡認知言語学会（2018年11月　於　西南学院大学）

従事と時間――メトニミー的観点から　石垣恵一

イギリス文学

日本ジェイムズ・ジョイス協会第30回大会　（2018年6月　於　法政大学）

トリエステのジョイス：*Exiles* に見る映画館事業とP. B. シェリー（シンポジウム発表）　岩下いずみ

第57回シェイクスピア学会　（2018年10月　於　津田塾大学小平キャンパス）

裸のリア／着衣のリア――『リア王』における王のアイデンティティと衣服　高森暁子

日本英文学会中国四国支部第71回大会　（2018年10月　於　鳥取大学）

A Portrait of the Artist as a Young Man の鳥表象と芸術家像の再考――イェイツとシェリー作品とのつながり　岩下いずみ

アメリカ文学

日本ナサニエル・ホーソーン協会第68回九州支部会　（2018年6月　於　北九州市立大学）

『大理石の牧神』におけるモデルの崩壊と物語の喪失　山口晋平

九州アメリカ文学会9月例会　（2018年9月　於　西南学院大学）

抑圧からの解放を求めて――Henry James の *Roderick Hudson* にみる願望の挫折　川村真央

日本ウィリアム・フォークナー協会第21回大会　（2018年9月8日　於　龍谷大学）

ブラック・アウトの作用――*Go Down, Moses* における人種観再考　松下紗耶

雑誌論文・共著

『九大英文学』第60号（２０１８年３月）

イギリス文学

Orlando's Binary Oppositions and Their Cyclical Emergence　田中恵理

『虹』における近代の「不毛」　田島健太郎

アメリカ文学

"In A World Where Things Fall Apart": The Boundary of Self in *Mrs. Dalloway* and *Sula*　吉田希依

Henry Jamesの満たされない願望とその葛藤――*The American*に見る自己の投影　川村真央

The Destruction of Model and the Lost Story in *The Marble Faun*　山口晋平

『日本英文学会第90回大会 Proceedings』（２０１８年９月）

イギリス文学

*Ulysses*における視覚芸術――演劇と写真を中心に　岩下いずみ

英語学

English Linguistics 35巻1号（２０１８年９月）

The Derivation of Non-Restrictive Relative Clauses and their Invisibilities　Norimasa Hayashi

イギリス文学

『英文学研究』第95巻（２０１８年12月）

歌に酔いしれて――イアーゴーの歌　高森暁子

人事異動

Carey Benom　三月三十一日、招聘外国人教師の任期を満了。

Ted Clontz　三月三十一日、招聘外国人教師の任期を満了。

Edmundo Cruz Luna　四月一日、特定プロジェクト准教授として、採用。

Ted Clontz　四月一日、特定プロジェクト准教授として、採用。

独文学研究室

講義題目

平成三十年度第一学期

文学部・独語学

作文　Aufsatz　ビュットナー教師
会話　DEUTSCH 1　ビュットナー教師
演習　DEUTSCH 2　ビュットナー教師
講義　Was ist Deutsch?　武田准教授

文学部・独文学

演習　背教者の系譜（1）　小黒教授
演習　ゲーテと自然（1）　武田准教授
講義　トーマス・マン研究　小黒教授
臨講　Kafkas Tiere　（ウィーン大学）Christine IVANOVIC 教授

人文科学府

演習　Karoline von Günderrode　ビュットナー教師
演習　ヘルタ・ミュラー（1）　小黒教授
演習　ロマン派の批評　武田准教授
特研　Kolloquium　小黒教授・武田准教授

平成三十年度第二学期

文学部・独語学

会話　DEUTSCH 1　ビュットナー教師
演習　DEUTSCH 2　ビュットナー教師
臨講　日独語対照言語学　（東北大学）嶋﨑啓教授

文学部・独文学

講義　トーマス・マン『魔の山』研究　小黒教授
講義　ロマンティークの誕生　武田准教授
演習　Einführung in die Lyrikanalyse　ビュットナー教師
演習　背教者の系譜（2）　小黒教授
演習　ゲーテと自然（2）　武田准教授

人文科学府

演習　Christa Wolf Kein Ort. Nirgends　ビュットナー教師
演習　シェリング初期思想を読む　武田准教授
演習　ヘルタ・ミュラー（2）　小黒教授
特研　Kolloquium　小黒教授・武田准教授

学会・研究室行事

○『**九州ドイツ文学**』**第31号**（平成二十九年十月発行）
〔論文〕
・ノヴァーリスの青――到達しえないものを志向する　大澤遼可

・雑誌『白樺』のドイツ近代美術受容とその終焉――クリンガー、ホフマン、フォーゲラーをめぐる言説　野村優子

・Kenji Miyazawas eingentümliche Onomatopoesien in dem Werk *Die Zwillingssterne* und deren deutsche Übersetzung　Susanna DEL CASTILLO

・日本製コミックに多用されるオノマトペのドイツ語への翻訳――動詞の1形態Inflektiv の活用を中心に　根本道也

〔翻訳〕

・フリードリヒ・シラー「人間の動物的本性の精神的本性との連関についての試論」　長尾亮太朗・高村俊典・橋本佳奈・池田奈央　訳　武田利勝　監訳

〔書評〕

・根本道也編著『オノマトペ（擬音語・擬態語）和独小辞典』　野口達人

○「トーマス・マン書簡の公開記念式典」

（平成三十年三月十日　於九州大学文学部会議室）

記念講演「トーマス・マンと日本」（トーマス・マン協会ハンス・ヴィスキルヒェン会長による通訳付きドイツ語講演）

○九州大学独文学会第三十二回研究発表会

（平成三十年四月二十八日　於九州大学文学部）

・「直観」から「精神的直観」へ――フリードリヒ・シュレーゲルの「発生論的方法」　長尾亮太朗

・帝国パトリオティズムにおける祖国（Vaterland）――F. C. v. モーザーを中心に　田口武史

記念シンポジウム「ゲニウス・ロキ　さよなら箱崎」　小黒康正

・越境のトポス箱崎

・研究室の扉を開けて――歴代助手のノートから　堺雅志

・片山正雄と辞書編纂の伝統　嶋﨑啓

・新制九大独文の黎明期――高橋義孝、文芸学、フィロロギー　池田紘一

○科研研究会第3回国際コロキウム

（平成三十年九月二十五日　於九州大学文学部）

・Das dritte Reich in Japan und Deutschland vor dem ersten Weltkrieg—Henrik Ibsen, Dmitri Mereschkowski und Thomas Mann.　Yasumasa Oguro

・Stefan George und die politische Prophetie　Janus Gudian

・J. G. Herder und die Offenbarung des Johannes　Yoichiro Shimada

・Eine Geschichte des Weltuntergangs　Johannes Fried

仏文学研究室

講義題目

平成三〇年度前学期

仏語学

演習	フランス語学（仏会話Ⅱ）	クロンツ教師
講義	フランス語学講義Ⅱ	〃

仏文学

演習	20世紀の小説（講読）	吉井教授
演習	アンドレ・ジッド研究	〃
特論	フランス文学批評研究	〃
研究	アンドレ・ジッド研究（1）	〃
演習	博士演習	〃
演習	論文指導	〃
演習	フランス近代文学講読	高木准教授
演習	フランス文学講読	〃
特論	文学研究の方法論	〃
研究	文学研究の実践	〃
演習	博士演習	〃
演習	論文指導	〃
講義	シュルレアリスム研究	クロンツ教師
特論	現代造型詩 ——ルヴェルディからルカまで	〃
研究	ジャン・ジロドゥ『エレクトル』	クロンツ教師
臨講	プルーストにおける音楽受容と小説創造	（大阪大学大学院）和田章男教授

平成三〇年度後学期

仏語学

演習	フランス語学（仏作文Ⅱ）	クロンツ教師
演習	フランス語学演習Ⅱ	〃

仏文学

演習	20世紀の小説（講読）	吉井教授
演習	20世紀の文学批評（講読）	〃
特論	フランス文学批評研究	〃
研究	アンドレ・ジッド研究（2）	〃
演習	博士演習	〃
演習	論文指導	〃
演習	フランス近代文学講読	高木准教授
演習	フランス文学講読	〃
特論	文学研究の方法論	〃
研究	文学研究の実践	〃
演習	博士演習	〃
演習	論文指導	〃
特論	ゲラシム・ルカ研究	クロンツ教師
研究	ジャン・ジロドゥ『エレクトル』	〃

学会・研究室行事

仏文学関係

「ステラ」第36号（平成二十九年十二月発行）

L'Amour absolu d'Alfred Jarry, un récit d'images　Aurélie BRIQUET

百閒漫歩――逢魔が時の文学――（その8）　森　茂太郎

世界表象の光と闇
――エナルゲイアとエネルゲイアの概念をめぐって――　玉田敦子

詩人とガラス瓶――ヴェルレーヌの「兄」「姉」をめぐって――　倉方健作

プルーストとワーグナー受容
――啓示としての『パルジファル』――　和田章男

プルーストとノルマンディー地方の教会
――リジューとタオン――　加藤靖恵

プルーストの初期作品における「風景」
――ボードレール「芸術家の告白の祈り」との関連で――　津森圭一

ラ・ベルマの『フェードル』
――別離の苦悩とラシーヌの詩句――　松原陽子

菩提樹の記憶
――『失われた時を求めて』における「復活」のモチーフ――　中野知律

ヴァレリーの詩集『旧詩帖』の題名と構成　鳥山定嗣

ヴァレリーと『リュシアン・ルーヴェン』
――魅惑されたナルシス――　髙木信宏

表象は神への供物たりうるか
――ドリュ・ラ・ロシェルの『ブレーシュ』異文――　松尾剛

《書評》クレマンス・カルドン＝カン
『文芸からフランス語へ――民主化時代の学問分野』　飯田伸二

日記体小説のタイトルについて――アンドレ・ジッドの場合――　小坂美樹

『背徳者』における病
――ジッドのニーチェ解釈とキリスト教思想を踏まえて――　西村晶絵

ジッドとアンドレ・ボーニエ　吉井亮雄

言語学研究室

講義題目

文学部

平成三十年度前期

概論　言語学概論　上山あゆみ・下地理則・太田真理
演習　対話の構造　上山あゆみ
講義　音声学道場／フィールド道場　下地理則
講義　言語の脳科学入門　太田真理
実習　卒業論文指導　各教員
講義（集中）　生成文法概論　（上智大学）福井直樹

平成三十年度後期

講義　統語意味論：構造構築と意味　上山あゆみ
演習　言語類型論　下地理則
演習　言語研究のための計測・統計　太田真理
実習　卒業論文指導　各教員
講義（集中）　現代日本語の統語・意味解析コーパス　（国立国語研究所）長崎郁
Stephan Wright Horn
講義（集中）　音韻論入門　（東北学院大学）那須川訓也

人文科学府

平成三十年度前期

特論　生成文法の考え方　上山あゆみ
研究　統語論の諸問題　上山あゆみ
特論　音韻論の基礎　下地理則
研究　構造主義言語学　下地理則
特論　言語の脳科学入門　太田真理
研究　生物言語学　太田真理
言語学研究法　全教員
論文指導　各教員
博士演習　各教員
特論（集中）　生成文法の原理　（上智大学）福井直樹

平成三十年度後期

特論　生成文法の考え方　上山あゆみ
研究　統語論の諸問題　上山あゆみ
特論　グラマー・ライティング　下地理則
研究　言語類型論　下地理則
特論　言語の脳科学入門　太田真理
研究　生物言語学　太田真理
言語学研究法　全教員
論文指導　各教員
博士演習　各教員

特論（集中）　現代日本語の統語・意味解析コーパス
（国立国語研究所）長　崎　郁
Stephan Wright Horn
特論（集中）　音韻論入門　（東北学院大学）那須川　訓　也

学会・研究室行事

九州大学言語学研究会

第百五回
（二〇一七年十二月二十二日　理系地区旧工学部本館2F　4番講義室）
「宮城県登米町方言の情報構造とイントネーション」
（成城大学）竹　内　史　郎

第百六回
（二〇一八年一月二十六日　文学部会議室）
「南琉球八重山西表船浮方言の焦点助詞の記述」
（九州大学）占　部　由　子
「宮崎県椎葉村尾前方言における与格項形容詞構文について」
（九州大学）松岡　葵・井上郁菜・宮岡　大・下地理則
「出雲方言における格標示について――ガ・ノ交替と対格標示」
（駒澤大学）平　子　達　也

第百七回
（二〇一八年三月十三日　文学部会議室）
「Mongol-Turkic language contact in northern Mongolia」
（ベルリン自由大学）Elisabetta Ragagnin
（二〇一八年三月十四日　言語学研究室2）
「日流諸語の複数接辞の分布に関する類型論」
（九州大学）下　地　理　則
「談話に見る八重山語黒島方言の形容詞」
（長崎大学）原　田　走一郎
「山陰方言のダとその周辺」
（島根大学）野　間　純　平

第百八回
（二〇一八年五月二十六日　文系キャンパス講義棟102）
「ハとガの先行研究レビュー：情報構造と格標示の観点から」
（千葉大学）中　川　奈津子
「日琉諸語の格ととりたての類型化」
（九州大学）下　地　理　則
「青森県津軽方言の格標示」（国立国語研究所）大　槻　知　世
「自然談話資料にみる福島方言の格標示」
（大正大学）白　岩　広　行
「富山市方言における格成分のゼロ標示：構文パターンに着目して」
（広島大学）小　西　いずみ

（二〇一八年五月二十七日　文系キャンパス講義棟102）
「九州方言における形容詞経験者構文の格交替について」
（九州大学）松　岡　葵
「愛知県旧木曽川町方言の格標示」（駒澤大学）平　子　達　也

第百九回
（二〇一八年七月二十四日　西新プラザ）
「On certain (rather fundamental) differences between Fukui and Kuroda」
（上智大学）福　井　直　樹

第百十回
（二〇一八年十月十八日　イースト一号館四階E－C－419）
「Corpora for Thick Description of Language」
（国立国語研究所）Stephan Wright Horn
長　崎　郁